

行動障害の理解と援助

長畑正道・小林重雄・野口幸弘・園山繁樹 編著
A5判・並製カバー装・270頁・本体価 3,000円

自傷・他傷やパニックなどの行動障害のある人をどう理解し、どう援助したらよいか。並々ならぬ実践から、行動障害は適切な援助があれば抑制できる、と主張する筆者らの最先端の研究成果と、個別療育計画を中心とした実践報告から成る書。強度行動障害が取り沙汰されるなか、社会参加をも視野に入れつつ、幼児から成人までの各教育・援助機関における先駆的な取り組みを網羅した意欲作。



主な目次

第 部 理解編

第 1 章 行動障害の意義と背景 (小林重雄)

行動障害とは / 「発達障害のある人」とは / 「行動障害」の持つ意味 / 「行動障害」と生育史の重要性

第 2 章 行動障害の類型 (肥後祥治)

行動障害の定義と視点 / 行動障害の類型化の試み / 行動障害への援助を前提とした類型化 - 自傷行動の研究を例として -

第 3 章 行動障害の医学 (長畑正道)

行動障害と医学的診断カテゴリー / 行動障害の神経機構 / 強度行動障害の薬物療法

第 4 章 行動障害と障害特性 (野口幸弘・園山繁樹・菅野敦)

発達障害と行動障害 / 自閉性障害と行動障害 / ダウン症候群と行動障害

第 5 章 行動障害の援助の基本 (服巻智子・園山繁樹)

TEACCH (ティーチ) の考え方と援助アプローチ / 行動的立場の考え方と援助アプローチ

第 6 章 行動障害の援助の方法 (野口幸弘)

援助の基本的な考え方 / 行動障害に焦点化した療育のあり方 / カンファレンスの進め方 / 家族や関係者との連携 / 個別療育プログラムの作成と展開

第 部 援助編

第 7 章 他害行動を示す ADHD 幼児への援助

- 統合保育幼稚園での実践 - (野呂文行)

激しく興奮してしまう A ちゃんとの援助体制 / 第 期: 教師との人間関係の構築 / 第 期: 他害行動が頻発した時期 / 第 期: 疲れやすい様子を見せた時期 / 第 期: 安定感が増してきた時期 / 状況事象の分析に基づく援助体制のあり方

第 8 章 複数の行動問題を示す重度知的障害生徒への援助

- 養護学校中学部での実践 - (中川正規)

激しい自傷のある B 君とその援助方針 / 手を出さないことへの援助 / 自傷行動への援助 / 学習態度と他者との関係作りへの援助 / 行動の意味を理解した援助のあり方

第 9 章 強固な行動障害を示す重度知的障害生徒への援助

- 養護学校中等部・高等部での実践 - (島井克房)

さまざまな行動障害を示す K 君とその援助方針 / 第 期: 模索の時期から第 1 安定期まで / 第 期: 再度の悪化から第 2 安定期まで / 第 期: 生活面からのアプローチと回復 / 生き生きとした生活

への援助のあり方

第 10 章 乱暴な行動を示す重度知的障害生徒への援助

- 養護学校高等部での実践 - (平澤紀子)

乱暴な行為が目立った J 君とその経緯 / 乱暴な行動の機能的アセスメント / 援助計画の立案 / チェックリスト記録に基づく援助経過の整理 / 望ましい行動にも着目した包括的な援助のあり方

第 11 章 強度行動障害を示す自閉性障害者への援助

- 民間療育機関での実践 - (野口幸弘)

強度行動障害と判定された T さんと援助計画 / 第 期: 直接観察と大まかな個別療育プログラムの立案 / 第 期: 新しいスキルの獲得開始 / 第 期: 宿泊プログラムの実施 / 第 期: 特別な環境下での安定期 / きめ細かな個別療育プログラムに基づく援助のあり方

第 12 章 頻繁な他傷行動を示す重度知的障害者への援助

- 通園事業での実践 (1) - (小江嘉孝)

頻繁な他傷が問題となった S さんとその理解 / 援助の考え方と方法 / 第 期: レポート形成の時期 / 第 期: 興味に基づく自己統制力の育成 / 第 期: 代替コミュニケーション手段の活用 / 行動障害の軽減から自律度の向上をめざした援助のあり方

第 13 章 引きこもりを示す自閉性障害者への援助

- 通園事業での実践 (2) - (道平 進)

さまざまな行動障害を示す R さんとその様子 / 第 期: 愛着形成期 - 要求の全面受容の段階 / 第 期: 自己統制の形成期 - 要求受容の制限 / 第 期: 家庭からの自立期 - 行動範囲の拡大 / 第 期: 母子分離期 - Y 園での段階的分离 / 第 期: 部分的自立期 - 母子分離と活動への参加 / 第 期: 自立期 - 単独通園 / 母子の信頼関係を大切にしたい援助のあり方

第 14 章 青年期急激退行を示すダウン症者への援助 (1)

- 大学相談室におけるカウンセリング - (菅野 敦)

2歳で退行が始まった T さんとその理解 / 退行現象の出現とその経過 / 急激退行の仮説と援助の方法 / 行動と知的機能における変化 / 急激退行と成人期ダウン症

第 15 章 青年期急激退行を示すダウン症者への援助 (2)

- 大学相談室での個別対応と母親カウンセリング - (園山繁樹)

情緒不安定から退行が始まった E さんとその経緯 / 退行現象の背景とその理解 / 援助の方針と方法 / 援助の経過 / 本人の主体性と心情を尊重した援助のあり方